

2023年2月期 第1四半期 決算説明資料



株式会社 MS & Consulting

連結P/Lサマリー(四半期比) p1/2

単位：百万円	2023年2月期 第1四半期	2022年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
売上収益	457	310	147	47.5%
売上原価	△ 297	△ 255	△ 42	16.4%
販管費	△ 153	△ 138	△ 15	10.8%
その他営業損益	18	32	△ 14	-44.3%
営業利益	25	△ 52	76	—
EBITDA	44	△ 32	77	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	20	△ 26	46	—

※説明は次ページに記載しております。

✓ 前年同四半期比、売上収益47.5%増、営業利益76百万円増

- 新型コロナウイルス感染症の業績への影響は逡減しつつあるものの、引き続き甚大
- そのような中、売上収益・営業利益ともに着実な回復を継続、1Qにおける営業黒字は、2020年2月期以来3期ぶり
- 売上収益とともに稼働も回復しつつあり、雇用調整助成金等の助成金収入は大幅減
- 売上収益の増加要因はp5参照
- 売上収益47.5%増に対して売上原価16.4%増、販管費10.8%増に止まる、以下が主な要因

【売上原価】

- 調査数増、売上収益増に伴うモニター謝礼ならびにレポート生産や顧客紹介などに関する外注費の増加 (+)
- 人員減に伴う労務費の減少 (-)
- 売上収益に占めるコンサル割合の増加 (-)
- 外食大手のMSR開始に伴う1調査あたりモニター謝礼の減少 (-)

【販管費】

- 広告宣伝費や旅費交通費などの増加 (+)
- 貸倒引当金の増加 (+)
- 人員減に伴う人件費の減少 (-)

連結P/Lサマリー(予想進捗率)

単位：百万円	2023年2月期 第1四半期累計 (実績)	2023年2月期 連結会計年度 (予想)			2023年2月期 第2四半期累計 (予想)		
			予想 差異	予想 進捗率		予想 差異	予想 進捗率
売上収益	457	2,215	△ 1,758	20.6%	996	△ 539	45.9%
売上原価	△ 297	—	—	—	—	—	—
販管費	△ 153	—	—	—	—	—	—
その他営業損益	18	—	—	—	—	—	—
営業利益	25	373	△ 348	6.7%	88	△ 63	28.3%
EBITDA	44	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	20	240	△ 220	8.5%	53	△ 32	—

✓ 2023年2月期通期業績予想は達成の見込み

- 通期業績予想の前提条件(注)として想定した状況と現時点で大きな乖離は生じていない
- 通期業績予想に対する売上収益進捗率は20.6%、第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた通期業績予想に対する売上収益充足率は61.3%
- 上期業績予想に対する売上収益進捗率は45.9%、第1四半期の実績に第2四半期初受注残高(国内)を含めた上期業績予想に対する売上収益充足率は86.2%

(注) 2022年4月7日開示の「2022年2月期決算短信〔 I F R S 〕(連結)」をご参照ください。

国内における売上収益の内訳(四半期比) p1/2

単位：百万円

	2023年2月期 第1四半期	2022年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
売上収益	440	296	145	48.9%
MSR事業の売上収益	433	287	146	51.0%
(内、MSR)	302	241	60	25.0%
(内、コンサル)	131	45	86	189.4%
(内、チームアンケート)	39	5	33	603.3%
その他の売上収益	7	9	△ 2	-18.1%
売上総利益	151	50	100	199.6%
<売上総利益率>	34.2%	17.0%	17.2%	—
MSR調査数	3.7万回	2.4万回	1.3万回	54.0%
チームアンケート調査店舗数	0.2万店	0.1万店	0.0万店	12.9%

※説明は次ページに記載しております。

- ✓ 前年同四半期比、MSRは25.0%増と堅調に、コンサルは189.4%増と大幅に回復
 - 1Q序盤は、まん延防止等重点措置の下で、MSRやコンサルの延期または中止が発生も、その影響は限定的
 - 外食大手のMSRが開始され、MSR調査数54.0%増
 - オンライン研修も含めたコンサルが再開、加えてSaaSの導入に伴うコンサルも増加
 - 売上収益に占めるコンサル割合が15.3%⇒29.8%へ上昇、100%粗利に近いコンサルが大きく伸長したことで売上総利益に貢献
- 受注高でも、前年同四半期比12.0%増と堅調に推移
- 再びIT導入補助金等の活用が可能となる2Q以降は、前期同様、SaaSの受注に注力、更なる業績回復を目指す

四半期毎受注高(百万円)	1Q	前年同四半期比	2Q	3Q	4Q
前 期	647	—	531	395	490
当 期	725	12.0%増	—	—	—

資 産

単位：百万円	2023年2月期	2022年2月期
	第1四半期 (2022年5月31日)	連結会計年度 (2022年2月28日)
現金及び 現金同等物	1,003	1,072
営業債権 及びその他の債権	166	319
流動資産合計	1,218	1,441
のれん	2,224	2,224
非流動資産合計	2,455	2,460
資産合計	3,673	3,901

負債及び資本

単位：百万円	2023年2月期	2022年2月期
	第1四半期 (2022年5月31日)	連結会計年度 (2022年2月28日)
社債及び借入金	167	167
営業債務 及びその他の債務	558	644
流動負債合計	784	950
社債及び借入金	28	69
非流動負債合計	42	85
資本金	45	45
資本剰余金	2,009	2,009
利益剰余金	935	949
資本合計	2,847	2,866
負債及び資本合計	3,673	3,901

- ✓ 売掛金の回収により、営業債権及びその他の債権が減少
- ✓ 売上収益の計上等による前受金の取崩しや消費税等の支払により、営業債務及びその他の債務が減少
- ✓ 金融機関からの長期借入金の当1Q末残高は194百万円

単位：百万円	2023年2月期 第1四半期	2022年2月期 第1四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	38	△ 8	45	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23	△ 18	△ 5	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 84	△ 63	△ 21	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,003	785	217	27.7%

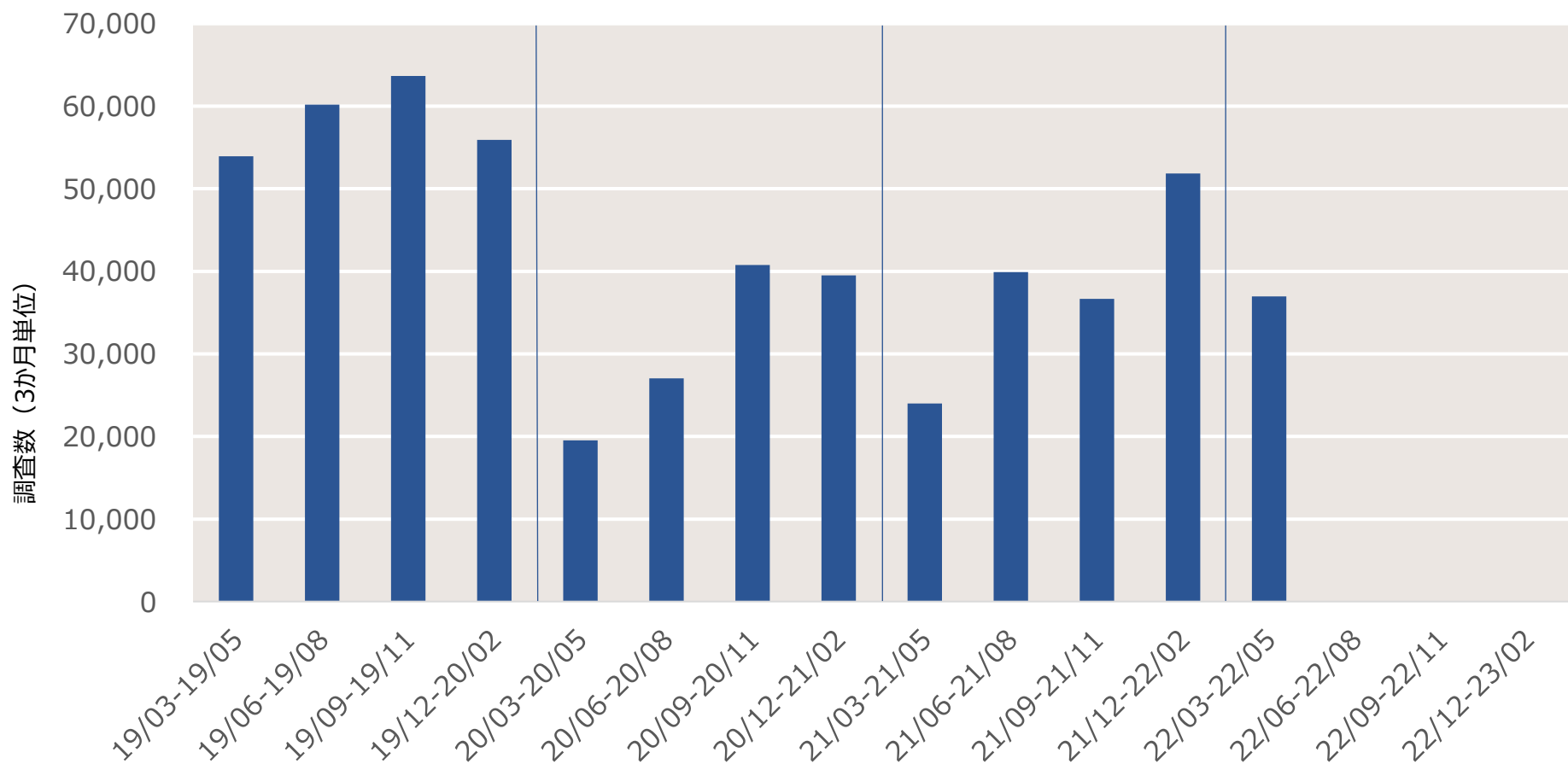
✓ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税引前損益77百万円の改善があった一方、法人税の納税額が35百万円増加等した結果、前年と比較して45百万円の収入増となり、当1Qの営業活動によるキャッシュ・フローは38百万円の収入となった

✓ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 当1Qの支出は、借入返済41百万円とリース負債の返済7百万円に加えて、期末配当金の支払35百万円が発生したため、前年と比較し21百万円の支出増となった

ミステリーショッピングリサーチ調査数 | コロナ前からの推移



- ✓ 1QのMSR調査数は、コロナ前の19年3月～19年5月と比べ、68.5%の水準
- ✓ (前3Qからの納品時期ずれで伸長した) 前4Qからは減少したものの、引き続きコロナ前の7割程度の水準で推移

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。